

「乳癌脳転移に対するガンマナイフ後のサブタイプ別治療成績(多施設共同後ろ向き研究による実態調査)」に関する「お知らせ」と「お願い」

現在、当院脳神経外科・脳定位放射線治療センターにおいて、「乳癌脳転移に対するガンマナイフ後のサブタイプ別治療成績(多施設共同後ろ向き研究による実態調査)」を実施しております。

皆様のご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

1. 研究の対象

ホルモン受容体およびヒト上皮細胞増殖因子受容体タイプ 2 (HER2) 受容体の情報が確認されている乳癌からの転移性脳腫瘍に対して当院で定位的放射線治療(ガンマナイフ治療)を受けられた方。

2. 研究の目的・方法

乳癌の初期治療においてはエストロゲン受容体やプロゲステロン受容体などのホルモン受容体およびHER2受容体の情報に基づいて分類され、薬物治療が選択されています。この分類は専門家の間ではサブタイプと呼ばれています。これまでの研究からこの分類により病気の進む速さ、治療後の経過なども異なることが明らかとなってきました。さらに乳癌から脳への転移についてもこの分類で治療後の経過が異なることが示されてきています。乳癌そのものや他の部位への転移に対する積極的治療を可能にするためにも、脳転移の治療は重要と考えられています。ガンマナイフ治療後の脳の症状を予測する因子が解明されつつありますが、多施設共同研究による解析は行われておらず十分な情報は得られておりません。

今回、本邦における乳癌脳転移に対するガンマナイフ治療を行った患者を調査し、治療後の経過を明らかにし、最適な治療方法について検討したいと考えています。

本研究は、日本ガンマナイフ研究会が統一形式の調査票を用いて、全国ガンマナイフ施設を対象とした調査を行い、乳癌脳転移に対する治療、治療後の反応などの実態を明確にすることを目的とします。具体的には過去の診療録からデータを収集し、治療後の転移性脳腫瘍の経過を解析およびそれぞれに關与する要因の解析を行います。

この研究を通じて乳癌脳転移に対する最適な治療を検討したいと考えています。また、本研究の結果を日本のみならず世界の医学界全体に発信することを考えています。

研究期間は2017年8月から2018年8月までの1年間です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

治療のデータおよび治療前後の臨床および画像所見の経過を臨床データとして使用します。

4. 外部への試料・情報の提供

研究のために使われる病気や身体の様子、生活の様子についての試料・情報は匿名化し、個人が特定されない状態で本研究終了後も適切に管理、保存します。それらは研究目的以外には一切使用しません。

試料・情報は研究責任者が管理し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

対応表は、研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

日本ガンマナイフ研究会ホームページ <http://www.gamma-knife.jp/>

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

〒222-0036

神奈川県横浜市港北区小机町 3211

横浜労災病院 脳神経外科・脳定位放射線治療センター

周藤 高

松永 成生

電話番号：045-474-8111(代表)

研究代表者：

〒260-8670

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学大学院医学研究院 脳神経外科学

樋口 佳則

電話番号：043-226-2158

事務局(連絡窓口)

〒290-0512 千葉県市原市鶴舞 575

千葉県循環器病センター ガンマナイフ治療部

電話番号：0436-88-3111